



ひいらぎ

垂水市立柘原小学校 学校だより

校訓
キャッチフレーズ

自ら学ぶ子 やさしい子 元気な子
笑顔があふれ 会話の弾む学校

令和5年7月発行

新しい自分を発見するよい機会に！

校長 竹井 敏秀

令和5年度は、4月6日に1学期の始業式、そして各学年の学級開きがあり、新年度がスタートしました。順調に学校行事等も行っていましたが、6月になって本校でもコロナウイルス罹患者が増え、学級・学年閉鎖をし、遠隔での授業（補教）をせざるを得ない状況となりました。しかしながら大きな事故やけがにも遭わず、無事に1学期を終えることができたことが一番です。

さて、いよいよ夏休みが始まります。この夏休みは、普段の生活ではあまりできない様々な体験活動に挑戦するよい機会です。今年、コロナ禍以前の体系に戻され校区行事はもとより、市内・県でも様々な行事が予定されています。そのような中、実施される活動にはコロナ対策をきちんと講じて、可能な範囲で参加してほしいと思います。



また日々の学習では、子どもなりの疑問や調べてみたいことについて、じっくりと腰を据えて取り組むよい機会だと思います。体験の中で「考える」「気付く」「振り返る」などの学びを充実させ、体験をとおして学ぶことを子どもたちに感



じてほしいと思います。

また、長い休業中ですので、子どもの事故が心配されます。毎年、全国で子どもの交通事故や水難事故がこの休業中に多く発生しています。子どもだけで川遊びや海での遊びなど絶対にしないように、また「自転車による飛び出し」「横断歩道の無い道路での飛び出し」など、命に関わる危険な行為が心配されます。どうか子どもが家を出るとき、「自分の目でしっかり確認しなさい」、「飛び出しが一番危ないから気を付けなさい」などと子どもに分かる具体的な指示や助言・声かけをお願いします。

子どもたちにとって安全で充実した夏休みになるように、御家庭や地域の皆様方の温かい見守りをお願いします。

地域伝統行事「おろごめ」

6月4日（日）藩政時代から受け継がれてきた「おろごめ」が行われました。10日ほど前から海岸の大きな穴掘りやのぼり旗等、子ども会を中心に準備しました。海岸の穴の中で親頭が子頭を引き出す戦いは今年度も激しいものがありました。昨年度まではコロナ禍で縮小しての開催でしたが、今年例年どおりの開催で、地域の皆様からも、大きな御声援をたくさんいただきました。ありがとうございました。



【たいまつを持ち山へ】



【男子はまわしをしめて】



【勇敢な組み合い】



【穴の前で記念撮影】

子ども神輿

7月9日（日）にこども育成会主催の「神輿担ぎ」が行われました。2年ぶりの開催で、子どもたちも張り切って神輿を担ぎ、柘原の街を歩きました。暑い中でしたので地域の皆様からも声援や、冷たい水の応援がありました。疲れましたが、良い経験ができました。ありがとうございました。



【わっしょいみんながんばれ】

とうもろこし収穫体験

6月9日（金）に水土里サークルの「とうもろこし収穫体験」がありました。今年は実がぎっしりのトウモロコシをたくさん収穫し、それぞれの家庭でいただきました。土地改良区のみなさん。ご指導ありがとうございました。



【大きい見つけた！】

9月の主な行事

日	曜	行事等
1	金	始業式、大掃除、集団下校 あいさつ運動（～5日）
3	日	P T A・振興会合同奉仕作業
9	土	土曜授業
10	日	P T A・振興会合同奉仕作業（予備日）
15	金	第3回家庭教育学級
30	土	P T A・振興会運動会準備
1	日	第14回柘原小・柘原校区合同大運動会